



平成23年度



ジュニアスポーツの育成と 安全・安心フォーラム

期 日 平成23年12月4日(日)

会 場 ホテル福岡ガーデンパレス「ガーデンホール」



主 催 ● 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団／財団法人スポーツ安全協会／日本スポーツ法学会

協 賛 ● スポーツ安全保険引受損害保険会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社／共栄火災海上保険株式会社／株式会社損害保険ジャパン
大同火災海上保険株式会社／東京海上日動火災保険株式会社／日新火災海上保険株式会社
日本興亜損害保険株式会社／富士火災海上保険株式会社／三井住友海上火災保険株式会社

主催者挨拶

財団法人スポーツ安全協会、日本スポーツ法学会の協力を得て、本年のフォーラムを開催することが出来ました。年々議論が深まり、多くの成果を上げてまいりましたのは、偏に関係各位の熱心なご支援、ご協力の賜物であり、心よりお礼申し上げます。

近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、これまででは考えられない様々な危険が子どもたちにもたらされています。地域の中で活動するスポーツ少年団にとって、子どもたちが安全に安心して活動するための環境づくりは、非常に重要な課題となっております。

特に、本年3月に発生した東日本大震災により、我が国は未曾有の被害がもたらされました。多くのスポーツ少年団関係者も被災し、心理的な支援も重要となっていることが考えられます。本フォーラムでは、ストレスマネジメントの観点から、スポーツ活動を通じた心理的ケアについて議論し、今後のさらなる安全・安心対策を講じるための情報提供を目指してまいります。

本フォーラムの成果が、多くの関係者に共有され、皆さまの今後のスポーツ少年団活動に役立てていただければ幸いです。

主旨説明

今年は、スポーツの世界にとってエポックメイキングな年だということができます。日本スポーツ法学会にとっても永年の悲願であったスポーツ基本法が制定され、本年8月に施行されたからです。

スポーツ基本法は、スポーツを通じて幸福な生活を営むことは全ての人々の権利であるとしてスポーツ権を認めました。子どもたちにも、当然スポーツ権があります。しかし、子どもたちが犠牲となった東日本大震災のような災害や事件・事故がしばしば発生し、その結果ストレスに苦しむ子どもたちも少なくありません。子どもたちがスポーツ活動を行う時にも、安全が確保され、安心してスポーツに取り組めるような環境の整備が重要な課題となっています。

本日は、ストレスの克服の仕方などスポーツをする子どもたちを心理的にサポートする方策の観点から、早稲田大学の竹中晃二教授に「運動・スポーツとストレスマネジメント」の特別講演をしていただきます。フォーラムは、「スポーツ活動と子どもたちの心のケア」のテーマで、望月浩一郎弁護士を座長とし、加藤寛神戸親和女子大学教授、荒木秀夫徳島大学教授、松崎泰政河北陸上スポーツ少年団指導者の皆様にご参加いただきます。

運動・スポーツとストレスマネジメント

—こころの安心・安全を保障する運動・スポーツの行わせ方を考える—

プロフィール

1952年大阪府生まれ。早稲田大学人間科学学術院教授。Doctor of Education, 博士 (心理学)。専門は、健康心理学、身体行動科学、行動変容、ストレスマネジメント、運動心理学。日本体育協会スポーツ医・科学専門委員会委員、日本ストレスマネジメント学会理事、日本健康心理学会理事・編集委員などを務める。

著書には、「日常生活・災害ストレスマネジメント教育—教師とカウンセラーのためのガイドブック—」(サンライフ企画)、「身体活動の増強および運動継続のための行動変容マニュアル」(ブックハウスHD)、「身体活動の健康心理学: 決定因・安寧・介入」(大修館書店) など多数。



特別講演

スポーツ活動と子どもたちの心のケア

座長

望月浩一郎氏

プロフィール

1956年山梨県生まれ。弁護士（東京弁護士会会員・虎ノ門協同法律事務所所属）。

日本スポーツ少年団常任委員として、スポーツ少年団情報誌の監修や講習会講師などを務める。

専門はスポーツ事故、医療事故、労災職業病関係。他に日本スポーツ仲裁機構仲裁人、(財)日本水泳連盟プール水深に関するガイドライン作成特別委員など。スポーツ医学実践ナビースポーツ外傷・障害の予防とその対応―(日本医事新報社)、スポーツのリスクマネジメント(ぎょうせい)など著書多数。



パネリスト

松崎泰政氏

プロフィール

1967年宮城県生まれ。宮城県石巻市(災害廃棄物対策課)職員。

宮城県スポーツ少年団指導者協議会運営委員。石巻地区スポーツ少年団連絡協議会理事。飯野川第一小かしわクラブスポーツ少年団代表(2011年4月～現在)。河北陸上スポーツ少年団指導者(1993年創設時～現在)。

宮城県スポーツ少年団組織の育成と運営に携わるほか、単位団指導者として青少年の指導に力を注いでいる。

これまで週3回程度のスポーツ少年団活動を行ってきたが、東日本大震災により、現在は活動が制限されている。



加藤寛氏

プロフィール

1951年岡山県生まれ。神戸親和女子大学発達教育学部ジュニアスポーツ教育学科教授。専門は、サッカーの育成年代でのコーチング法、あるいは地域スポーツクラブの経営。

日本サッカー協会公認S級コーチ。同スポーツクラブマネージャー。日本サッカー協会元ナショナルトレセンコーチ。ヴィッセル神戸元アカデミー事業本部長、スクールマスター。日本クラブユースサッカー連盟理事(1982年～2008年)。神戸市サッカー協会副会長。

1995年阪神淡路大震災時神戸高校避難所代表(1月19日～8月31日)。

1995年度第8回日本ユネスコ・フェアプレー特別賞(日本ユネスコ連盟)。1995年度国際フェアプレー賞推進部門栄誉賞(国際ユネスコ連盟、国際オリンピック委員会)。1996年度関西スポーツ賞功労賞(関西記者クラブ)。



荒木秀夫氏

プロフィール

1952年横浜市生まれ。徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授。

1982年筑波大学大学院博士課程体育科学研究科修了(学術博士)。同年、徳島大学教養部に赴任し、現同大学院教授。専門分野は、運動・行動生理学。研究分野として、脳・運動に関する神経筋生理学的研究や各領域に関する研究報告書など多数。

現在、スポーツ・教育関連機関において、脳科学を基盤とした学習支援とコーディネーショントレーニング等の実践・研究開発を行っている。

著書に、青年の健康と運動(現代教育社)、脳に効く!コーディネーション運動(主婦と生活社)など、その他、スポーツ・健康関連雑誌の連載などを執筆。



プログラム

10:00	受 付
10:45	開 会 式 司 会 ●入澤 充 (群馬大学) 主催者挨拶 ●望月浩一郎 (日本スポーツ少年団常任委員) 来賓挨拶 ●田中 友治 (福岡県スポーツ少年団本部長) 主旨説明 ●竹之下義弘 (日本スポーツ法学会副会長)
11:00	特 別 講 演 テ ー マ ●運動・スポーツとストレスマネジメント —こころの安心・安全を保障する運動・スポーツの行わせ方を考える— 演 者 ●竹中 晃二 (早稲田大学教授/日本体育協会スポーツ医・科学専門委員)
12:30	休 憩 ジュニアスポーツ法律アドバイザー研究会 ※弁護士対象
13:30	フ ォ ー ラ ム テ ー マ ●スポーツ活動と子どもたちの心のケア 座 長 ●望月浩一郎 (弁 護 士/日本スポーツ少年団常任委員) パネリスト ●松崎 泰政 (現場指導者/宮城県・河北陸上スポーツ少年団) 加藤 寛 (災害支援者/神戸親和女子大学教授) 荒木 秀夫 (研 究 者/徳島大学教授)
15:30	閉 会 式 司 会 ●入澤 充 (群馬大学) 閉会挨拶 ●村田 芳子 (財団法人スポーツ安全協会副会長)
16:00	解 散 法律相談